

社協

第97号

あさきた

社協あさきた
ボランティアセンターだより

編集発行

社会福祉法人

広島市安佐北区社会福祉協議会
広報委員会

〒731-0221 広島市安佐北区可部3丁目19番22号
安佐北区総合福祉センター4階
TEL.082-814-0811 FAX.082-814-1895
E-mail:kita@shakyohiroshima-city.or.jp
<http://shakyohiroshima.jp/asakita>

発行部数／50,000部
2016年(平成28年)秋

笑顔はじける出会いの場

第15回 安佐北ボランティアフェスタ

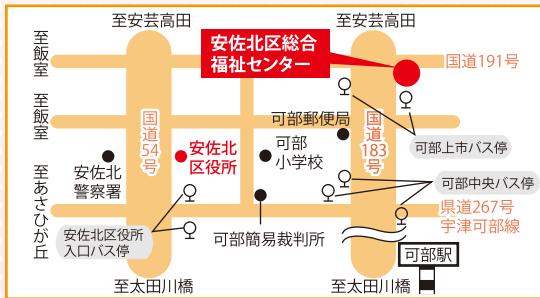
日時 平成28年
10月15日(土) 10:00~15:30

会場 安佐北区総合福祉センター

バザー(10:00~15:00)

野菜・うどん・むすび・いなり・お茶席・
遊休品・手作り品など販売等

エコバックの
持参をお願い
します



体験コーナー(10:00~14:00)

手話・点字・音声訳・車いす・要約筆記など
スタンプラリーで景品ゲット！

ステージ発表(12:40~15:30)

三入和太鼓クラブジュニア・踊り・演奏など
お楽しみbingo大会もあります

お問合せ 社会福祉法人 広島市安佐北区社会福祉協議会
〒731-0221広島市安佐北区可部三丁目19番22号 電話番号 (082)814-0811 FAX (082)814-1895
Eメール kita@shakyohiroshima-city.or.jp

主催 安佐北区ボランティアグループ連絡会 / 共催 社会福祉法人 広島市安佐北区社会福祉協議会

目 次～主な内容～

- 第15回安佐北ボランティアフェスタのご案内 P1
- 復興連携センターすまいる活動報告 P4
- 大林地区名勝・旧跡等散策案内図、狩留家地区社協サロン紹介 P2
- 鈴張地区社協の取り組み紹介、飯室地区・駅舎力フェ「ROMUI」 P5
- 白木地区交通課題について他 P3
- お知らせ他 P6

この広報紙は赤い羽根共同募金の配分金を一部充当して作成しました。

大林地区名勝・旧跡等

散策案内図(Aコース)が完成しました

大林地区は、1221年の承久の変のち地頭職に任じられた熊谷氏が本拠地として山城を築いた歴史ある地区です。この歴史を広く知ってもらいたいと、大林地区文化事業実行委員会が「大林地区名勝・旧跡等 散策案内図(Aコース)」を発行しました。

散策ルートは1周およそ7kmで、歴史ある神社仏閣や史跡を巡ります。平成26年8月20日の土砂災害における被害を検証し今後に生かすため、案内図には土砂災害跡地も記載されています。今後は大林史跡保存会が案内役を務める語り部の養成をしていく予定です。

ゆっくりと地元の歴史や文化、自然に触れながら歩くと地域が今よりもっと身近に感じられます。秋風が気持ちいい季節、のんびり散策してみてはいかがでしょうか。

散策案内図は、大林愛林会事務所や三入公民館などにて配布しています。来年、再来年にはBコース、Cコース版も発行予定です。

お問合せ先 大林史跡保存会

安佐北区大林1-4-5(財)大林愛林会事務所内

電話 082-818-2608

サロン紹介

狩留家地区社会福祉協議会

男の料理サロン「わっはっは」

毎月1回、狩留家集会所から「わっはっは！わっはっは！わっはっは！」という元気な笑い声が響きます。これは「笑うことで免疫力を上げる効果があり、がん対策になる」という説に由来するもの。メンバーそれぞれが笑顔になったところで“男の料理”が始まります。

献立を確認し、メンバーで意見を出し合って調理や盛り付けを豪快におこないます。元家庭科教師の先生もおられますが、メンバーそれぞれが「先生」になることが多いとのこと。自宅の畠で作った野菜や手作り味噌を持ち寄ることもあります。

取材で訪ねたこの日は、65回目にして初めてメンバーが奥様をご招待。試食会のあとには自己紹介の時間が設けられ、奥様も料理の感想を一言ずつコメントし、笑いのある和やかな会になっていました。



【調理風景】メンバーで楽しく調理



【献立】鮎の塩焼き、鮎そうめん、
狩留家なすベーコンチーズ焼き、
狩留家なすステーキ、ヒスイなす



盛り付けも豪快に



【試食会】初めて奥様をご招待して
おもてなし



会の終わりにもメンバー全員で
「わっはっは！」と元気よく

サマースクールにっこり教室

夏休みの10日間、可部福祉センターで小学4年生～6年生を対象とした「サマースクールにっこり教室」が開かれました。子どもたちににっこりして帰ってもらいたいという思いから「にっこり教室」と名付けられました。可部退職教職員の会では、教職を退職した後も自分たちが出来ることはないかと考えて、子どもたちが自由に勉強できる場を開きました。

子どもたちが自分で考えて勉強する力を持つことを目標にしています。勉強だけでなく遊びも取り入れて、自由で楽しい活動が行われています。

その名の通り子どもたちだけでなく、会の皆さんもにっこりした笑顔があふれていきました。活気が満ちた雰囲気は地域の人と人との繋がりを深めていたように感じました。



集中して勉強に取り組む様子



手作り割り箸鉄砲で遊ぶ子どもたち



夏野菜の絵手紙づくり

(※この記事は社会福祉士の相談援助実習生(岡本さん、太田さん、川本さん)が取材、作成をおこないました。)

社協職員が全力でおすすめする本

今号から区社協職員が毎回おすすめの本を紹介します。

シャボン

(社本)

『見守り活動』から『見守られ活動』へ 住民歴書とエゴマップのすすめ

著者:ご近所福祉クリエーター 酒井 保

「支え合いのまちづくり」とよく言われるが、本当の意味での「支え合い」とは何か。本来、「支える」と「支えられる」という両方の行為ではないか。今後の福祉のまちづくりの参考になる本だと思います。



白木地区の交通の確保について

白木地区(井原・志屋・高南・三田)において、以前から交通課題(移動手段の確保)について協議していました。今年の春、地域住民を対象にアンケートを実施し、2,081世帯的回答が寄せられました。これを受け、それぞれの地区で集計結果を報告することになりました。また、井原地区は以前から地域の交通課題に取り組んでおり、喫緊の課題であるため、モデル地区として公共交通機関以外の手段も含めて検討していくことになりました。今後も地域住民、行政、民間事業者も含めさまざまな団体・機関と連携しながら生活交通の確保について協議していきます。



安佐北区 復興連携センター すまいる活動報告



災害で被災された方のお宅を訪問し、避難先での暮らしのことなどをお聞きしています。

被災後、引越先で体調を崩された方のお宅で、ふさがっている扉を開けて屋内の通気をよくするために、和ダンスの解体と下駄箱の移動を行いました。

ボランティアさんにお願いして、無事終了。
風の通りがよくなり、心から感謝されました。



和ダンスをバールとノコで解体



被災者の方たちがつどえる場として、地域が中心となって月1回開かれています。

すまいるカフェでは、いろいろな方の力を借りています。



● 傾聴ボランティア ミミの会さん(新建・大林)

ハンドマッサージを通じて皆さんの話を聴きします。感情をそのまま受け止め、ホッと安心できる時間をつくっています。



● セラピストさん(新建)

マッサージで凝りや痛みなどの症状を解消・軽減します。

楽しい会話も交え、心身ともにやわらかに。



● 保健師さん

心身ともに病気を予防し、健康を維持するために、血圧測定や相談に応じています。

● 行政相談委員さん (新建)

行政に関する苦情、行政の仕組みや手続きに関する問い合わせなどを気軽に相談できます。



鈴張地区社会福祉協議会では6年前から豊かな自然を育む
鈴張川の再生をめざして「ホタルの里づくり」に取り組んでいます。

現在は実行委員10人が中心となりホタルの採集から幼虫の飼育・放流までをおこなっています。自然と向き合うこの取り組みは毎年気象などの影響を受けやすく、その都度試行錯誤が繰り返されてきました。今年は大雨の影響か幼虫のえさになるカワニナが少なく悩まされました。容易なことばかりではありませんが、「継続することに意味がある」とこれまで続けられています。



地元の自然やホタルの生態などを伝える授業

公衆衛生協議会、鈴張小学校へと取り組みの輪は広がり、最近では地域住民も積極的に川



実行委員と小学生と一緒に川に入ってカワニナ探し

辺の清掃や環境美化に参加しています。毎年鈴張小学校の4年生は授業の一環で実行委員からホタルやカワニナの生態について講義を受け、小学校の前を流れる東谷川でカワニナ採りをおこないます。11月には成長したホタルの幼虫を川に放流する予定になっています。ホタルが飛び交うきれいな川にすることは、人間にとっても健康に暮らせる環境づくりになると世代を超えて引き継がれていきます。



これからもたくさんのホタルが見られるのを楽しみに、地元の自然を大切にする心が地域全体で育まれています。



廃線になったJR可部線の旧安芸飯室駅舎で昨年11月から地域の女性グループがカフェを始めています。駅員室やホームに、約20席を設け、ピザ、ホットサンド、コーヒーなどを出しています。当時の待合室では手作り雑貨や地元野菜等を販売しています。

ROMUIは、飯室(いむろ)の逆さ読み。英会話教室、トールペイント教室などもあり、地域の「ほっとする場」となっています。ドライブがてら立ち寄ってみてはいかがですか。



・ 営業日 毎週日曜日10時～16時
・ 問合せ先 <http://romui.exblog.jp/>
広島市安佐北区安佐町飯室2905
(旧可部線安芸飯室駅舎)
免田洋子:090-4579-8663



お知らせ

第3回在宅緩和ケア市民講演会

日 時 平成28年11月5日(土)
13:00~15:15(12:30受付開始)

場 所 安佐北区民文化センター

テーマ 「今のうちから知っておきたい在宅医療」
～住み慣れた家でその人らしく生きることを支える医療～

入 場 料 無料 申 込 不要

主催・お問い合わせ先

広島市立安佐市民病院 医療支援センター 矢田・山本
〒731-0293 広島市安佐北区可部南2-1-1
電話 082-815-5533

第37回安佐北区社会福祉大会

日 時 平成28年11月19日(土)13:30~

場 所 安佐北区総合福祉センター
6階大会議室ほか

内 容

13:30~15:30 ● 大会式典・講演会

【講 師】 広島市立安佐市民病院
副院長 土手 慶五 氏

【テーマ】 「なぜ、社協の役をやめたらいいのか?!」

11:30~16:00 ● 施設・作業所バザー

主催・お問い合わせ先 安佐北区社会福祉協議会
電話 082-814-0811
FAX 082-814-1895

弁護士無料法律相談

日 時 平成28年11月16日(水)
13:00~16:00

場 所 安佐北区総合福祉センター

内 容

多重債務、破産、離婚、相続などについて
弁護士が無料で相談を受けます。
ひとり30分(先着6名)



申込方法

平成28年10月17日(月)8:30から
電話またはFAXにて受付をおこないます
(原則、安佐北区内に居住する方を優先とします)

申込先

安佐北区社会福祉協議会
電話 082-814-0811
FAX 082-814-1895

第9回福祉チャリティー 神楽上演会

日 時 平成28年12月11日(日)12:30開演

場 所 安佐北区民文化センター

内 容 安芸高田市美土里町の
横田神楽団による神楽上演

入 場 料 無料
(当時は会場入り口に「愛の箱」
「恵みの箱」が設置されます。)

主 催 三入の庄郷土を愛する会



赤い羽根共同募金 ご協力をお願いします

今年も10月1日から共同募金活動が始まっています。赤い羽根共同募金は、
高齢者、障がい者、子どもたちなどへの、地域の福祉活動を支援する募金です。災害時には、「災害ボランティアセンター」の設置や運営など、被災地支援
にも役立っています。

ご協力ありがとうございました
平成27年度 共同募金安佐北区分会実績額

募金額／12,565,457円 (平成28年3月31日現在)
内訳／戸別：10,454,261円 街頭：195,581円 法人：1,329,000円
職域：484,110円 その他：102,505円



（藤岡）
歩いて、今年の秋は
運動“と”発見“の”秋に
したいと思います。
その他の地域も元気
みるだけでは知ること
のできない発見がた
た。自分の足で歩いて
みると、車通りすぎ
るだけでも驚きまし
た。これを見つかけ
た。これをきっかけに
みる限りのところを
案内(Aコース)を案
内していただきまし
た。自分と一緒に歩
く。この地域を大林
地区名勝・旧跡等散策
取材を兼ねて大林
★編集後記★



中山
楳下
律政
枝
様様
内閣
返しの
一部として
★編集後記★

みなさまより多額の
ご寄付をいただきま
した。
みなさまのご厚意
に感謝申しあげ、ご
報告いたします。
（平成28年7月1日）
（平成28年9月15日）

愛の灯